

〈史料紹介〉

史料紹介 「関東代官竹垣直道日記」(9)

西 沢 淳 男

凡 例

一、本稿は、東京大学史料編纂所蔵「竹垣直道御代官日記」廿五、嘉永六年（一八五三）正月～七月迄を翻刻したものである。

一、翻刻にあたって、原則として原本の体裁を尊重するようにした。特別な場合を除き常用漢字に改め、読みやすくするために適宜読点「・」と並列点「。」をつけた。

一、異体字は正字または新字に改めた。変体仮名は平仮名に改めた。合字の「カ」（より）はそのままとした。助詞として使用されている、「江」（え・へ）、「而」（て）、「与」（と）、「二」（に）、「者」（は）、「茂」（も）及び井などは、活字を小さくして使用した。一、虫損箇所は、□・「」で、判読不能文字は*で示し、推読できた場合は（ ）で傍注とした。誤記・意味不明などの場合には、正字を傍注とするか、（ママ）を付した。脱字は（脱）と注記した。疑念が残る場合には、（カ）を加えた。

一、抹消された文字で判読できる場合は、文字を示し、文字に抹消記

号として——を入れ、訂正文字がある場合、わきに記した。抹消文字が判読できない場合、□・「」に抹消記号として——を入れ、訂正後の文字がある場合、わきに記した。

一、平出は二字あけ、闕字については一字あけとした。
一、日記中の図版は、そのまま手を加えず複写した。
（にしざわ・あつお・高崎経済大学地域政策学部教授）

【前号までの訂正】

「関東代官竹垣直道日記」(3) 132頁上段11行目 山内顕蔵

↓山内郡蔵

「関東代官竹垣直道日記」(4) 192頁下段14行目 東郷村↓本郷村

「関東代官竹垣直道日記」(4) 190頁下段1行目 智五郎↓督五郎

「関東代官竹垣直道日記」(4) 187頁下段7行目 中針村↓中釘村

「関東代官竹垣直道日記」(4) 181頁上段22行目 田中正二郎吟味

↓田中正二郎入来

〔関東代官竹垣直道日記〕(4) 172頁下段7行目

豊田豊之進↓豊田藤之進

〔関東代官竹垣直道日記〕(5) 154頁上段10行目

岩井与左衛門↓岩井与左衛門

〔関東代官竹垣直道日記〕(8) 121頁下段19行目 樋損場↓櫛植場

〔関東代官竹垣直道日記〕(1) 5(8) 全体 縁頼↓掾頼

一、今朝出宅前、役所一統年礼受ル

一、年賀来人

鈴木大太郎 斎藤嘉兵衛 外九十三人

同二日 曇

△印弁当

一、朝五つ時過出宅年礼廻勤

○印通ル

(表紙)

世五
從嘉永六癸丑年
正月至七月
日記

久世大和守殿

松平和泉守殿

遠藤但馬守殿

鳥井丹波守殿

井戸对馬守

池田播磨守

本多越中守殿

酒井右京亮殿

内藤紀伊守殿

牧野備前守殿

本庄安芸守殿

川路左衛門尉殿

諏訪庄助 清岸院御牌前拜礼

○安藤正三郎

佐々木道太郎

里見源左衛門

○内藤市十郎殿

△松平新三郎

西井源次郎

久貝因幡守

篠本彦次郎

竹内清太郎

○青山録平

中嶋佐渡守

屋代増之助

石川新助

野中鉄太郎

○河野七太郎

石河土佐守殿

松井助左衛門

高木清左衛門

大森善次郎

右仕廻夕七つ半時過歸宅

一、年賀来人

○正月元日 半晴

一、明六つ半時過登(出)城、年頭御礼申上ル、四つ半時過退出、廻勤

松平玄蕃頭殿 松平伊賀守殿 阿部伊勢守殿 森川出羽守殿

本多加賀守殿 望月新八郎 斎藤嘉兵衛

右仕廻九つ半時過歸宅○弁当無之

一、年賀如家例相祝ス

望月新八郎 田中庄次郎

藤方彦市郎

井上新右衛門 ○奥村季五郎

松井助左衛門

小笠原半十郎 外八十五人

同三日 曇

一、朝五つ時過出宅年礼廻勤

石尾彦四郎 森川兵助

大沢三七郎

川崎平右衛門 都筑金三郎

羽田龍助

井上三郎右衛門 岸本金八郎

中村八太夫

○近藤平格 中村為弥

戸田久助

堀田大隅守 岡田利喜次郎

田口加賀守

林部善太左衛門 ○久須美六郎左衛門 松平河内守殿

山本新十郎 立田岩太郎

内山七兵衛

平塚金兵衛 藤方彦市郎

坪内舍人

井上新右衛門 大熊善太郎

古山善一郎

小田又七郎 根来五左衛門

△小泉次太夫様

金田小膳 丹羽五左衛門

西尾寛一郎

中野又兵衛 吉田定之丞

高橋鍾之助

金井伊太夫 木村敬蔵

森鐘太郎

大草太郎左衛門 後藤一兵衛

築山権九郎

後藤与兵衛 山崎八三郎

勝田次郎

吉川銚七郎 ○内藤茂之助

松永善之助

右仕廻夕七つ半時帰宅

一、年賀来人

田口小右衛門 服部三郎左衛門 林部善太左衛門

○関捨四郎 高木清左衛門 ○河野七太郎

安西惣助 岸本金八郎 都筑金三郎

五味与三郎 築山権九郎 里見源左衛門

小田武者五郎 都筑源七郎 小高登一郎

勝田次郎 大森善次郎 岡田利喜二郎

後藤与兵衛 吉岡栄之助 戸田嘉十郎

大沢三七郎 丹羽五左衛門 外五十人

同四日 曇

一、朝五つ時過出宅年礼

小笠原信助 内藤忠次郎 ○今堀千五百蔵

和田庄兵衛 松本十郎兵衛 中村英太郎

柑本兵五郎 本多寛司 鈴木大太郎

江川太郎左衛門 自宅 田口小右衛門

○関捨四郎 服部三郎左衛門 五味与三郎

松平八郎兵衛 田中庄次郎 向井将監

比留間兵三郎 △杉浦正一郎 室田与左衛門

菊沢左兵衛 塚越藤助 小高登一郎

赤木只五郎 ○豊田藤之進 佐々木循輔

戸田嘉十郎 ○河尻式部少輔 勝権一郎

成瀬藤右衛門 小林藤之助 三雲新左衛門

右仕廻夕七時半時過帰宅

一、年賀来人

向井将監 石川新助 後藤一兵衛

木村敬藏 大草太郎左衛門 中野又兵衛

○豊田藤之進 戸田久助 山崎八三郎

吉川銚七郎 竹内清太郎 戸田久次郎

後藤錠太郎 吉田定之丞 ○西尾寛一郎

外廿四人

同五日 晴

一、在宿

一、年賀来人

松永善之助 柑本兵五郎 金田小膳

内山伊三郎 野中鉄太郎 中村為弥

古山善一郎 坪内舍人 増島濤太郎

○小泉次太夫様 ○久須美権兵衛 本多寛司

○近藤平格 石井勝之進 ○内藤茂之助

小林藤之助 田口百助 ○内藤勝太郎

外三十三人

同六日 晴

一、在宿

一、支配のもの年礼受ル

芥改役四人 八右衛門新田 桑川村

深川町 海辺新田 北本所町

深川獵師町 亀高町 猿江町

下平井村 松本村 奥之宮村

細田村 金町村 渋江村

小村井村 南本所町 中之郷村

松伏村 右村々役人共

右一同逢遣又

一、勝田の書通、百合芋贈ル、及返書

一、年礼来人

中村英太郎 柏木誠太夫 成瀬藤右衛門

○石尾彦四郎 諏訪庄右衛門 立田岩太郎

金井伊太夫 屋代増之助 戸田五介

○青山録平 ○小泉久太郎 佐々木道太郎

篠本信之助 ○久須美六郎左衛門 外五十四人

一、近々^{平田} 右大將様御成三付、明七日四時新部屋申合、御目付達之

旨、奉行衆の申来候段、森内廉蔵罷越、申聞候

同七日 晴

一、朝五つ半時西丸江罷出ル、新部屋申合相濟候上備後三付、当番御

目付松下大学三面会、達別之段申断いたす○退出之節水戸殿・尾

州殿御上り三付、御時宜いたす○四つ半時過帰○役所出勤○御貸

付并二分役所相廻ル○鈴木尚太郎元々加判申付、其余手当増加給

等申渡○九つ半時比帰宅

一、御鷹野方詰番後藤錠太郎之切紙持参、奉行衆被仰 渡有之間

明八日 (平出) 御殿江罷出候様申来ル

一、年賀来人
比留間兵三郎 根来惣左衛門 中村八太夫

和田勝兵衛 外拾七人

同八日 半晴

一、朝五つ半時過登 (平出) 城○自分義当春参向之公家衆御馳走御賄御

用被 仰付候段伊勢守殿江伺之上、河内守殿申渡、立会塚越藤助、

差越高橋鍾之助、組頭中村為弥・吟味方笹本茂三郎・御勘定西村

環助・自分・相士藤方彦市郎一同申渡有之、并当後九つ時比退出、

服紗麻着替、御礼廻如左

伊勢守殿 但馬守殿 河内守殿

土佐守殿 中村為弥

右相仕廻、九つ半時過帰○役所出勤、八つ時過帰宅

一、藤方彦^元武藤林一来、逢

同九日 晴

一、在宿

一、高木茂久左衛門・中山昇三郎・松野斉助義参向御用懸申渡

一、河尻式部少輔・同帯刀逐々年礼^二来、酒飯振舞夜^二入帰ル

一、浅井宗寿来逢

一、年賀来人

小笠原信助 三雲新左衛門 ○豊田敬之助

佐々木循輔 荒井郁之助 ○杉浦正一郎

○斉藤辰吉 外九人

同十日 快晴

一、在宿

一、桑原瀬兵衛来、逢

一、年賀来人

菊沢左兵衛 塚越藤助 外五人

同十一日 雨

一、在宿

一、江川太郎左衛門来、逢

一、年賀来人

一、山本新十郎 外二人

一、久須美順三郎江文通、返書来ル

同十二日 曇夜雨

一、昼後出宅、久須美六郎左衛門方江兼約^二而参、づいち^(マヤ)弁当箱一。

桑火箸一、権兵衛江墨、七十五郎へ硯石、おたを江品物贈ル、順

三郎・今堀・西尾来談話、酒飯被振廻、夜四つ時帰宅

一、年賀来人有之

同十三日 曇

一、在宿

一、宗寿来、逢

一、久須美権兵衛来、逢

一、川崎平右衛門年礼申置

同十四日 半晴

一、在宿

一、小林金造来初^而逢、鯉節一箱呉候^二付、金百疋遣ス

一、篠崎直一来、逢

一、上ケ物柑子廉蔵持参見分封印いたし、差返ス

一、年賀羽田龍助・赤木唯五郎来ル

同十五日 曇

一、朝五つ時過登^(平出) 城○月並御礼申上候○四つ半時過帰宅

一、江川太郎左衛門方文通、海苔到来、返書移遣ス

一、宗寿来逢

同十六日 朝の雪

一、在宿

一、年賀来人有之

同十七日 終日雪

一、在宿

同十八日 大雪 一昨朝の終日夜雪夕七つ時過収

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○宮部孫八郎元々伺、市川

章十郎・本庄弼蔵手代取立伺、中山耕之助書役伺、小林其右衛門

番代願、岡田利喜次郎江出ス○^(平出) 御殿江出ル四つ半時過退出○

藤方同道、伝^(平出) 奏屋敷江出勤、今日御用始、吟味方笹本茂三郎・

御勘定西村環助其外懸一同出勤、八つ半時帰宅

同十九日 晴

一、例刻出勤○高木彦五郎役所詰、小林金蔵役所見習申付ル○評席申

渡有之○同断帰宅

一、伝奏屋敷藤方

同廿日 曇

一、役所休日

一、早昼出宅、伝(平出) 奏屋敷割出、笹本茂三郎面会、八時半時帰宅

一、毛利左京亮使者来、御馳走方被 仰付候ニ付、諸事頼候旨口上書

持参

同廿一日

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、紅葉山(平出) 御参詣ニ付、伝 奏会所々切休日

一、おみち浅草観音江参ル

同廿二日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○明日浜(平出) 御成、諸色見分いたす○九つ

時前退散○伝 奏会所出勤、八時半時帰宅

一、毛利左京亮の使者を以、時候見廻として金五百疋・干鯛料金五拾

疋相贈、挨拶申遣ス

同廿三日 曇夕晴

一、浜御庭(平出) 御成ニ付、暁七つ時少し過出宅、木挽町焚出場見廻

明六つ時前、浜業所江相越、六時半時(平出) 御入込、八時半時還

(平出) 御、例之通両度(平出) 御目見いたす

○御供揃六時○若年寄 朝安雲守殿
夕越中守殿

○式度目御賦有之

右相濟、七時半時比帰宅

一、関捨四郎の文通、保右衛門書状、縮緬一反到来

同廿四日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、芝 御参詣ニ付、伝 奏会所休

一、宗寿来、逢

一、関捨四郎江昨日之返書遣ス

一、福田八郎右衛門江之紙封、耕之助江渡、屈方申付ル

一、五味与三郎の切紙、明日四つ時呼出来

同廿五日 晴

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○水戸殿鷹場之義ニ付、五

味与三郎の小林藤之助一同談有之、右佐々木道太郎手代江及演舌

○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、昼後うた河尻の来、一宿

同廿六日 雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○九つ時退散○伝 奏会所出勤○西村環
助面会、八つ半時帰宅

一、朝出前仲谷十郎左衛門・吉川友次郎来、逢
一、うた昼後河尻江帰ルよし

同廿七日 昨夜雪終日雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、西中刻土佐守殿刻付廻状到来

一、明廿八日例月之御礼無之

一、紀伊一位殿逝去三付、明廿八日御機嫌伺惣出仕

一、普請者今日一日停止、鳴物者七日停止、右御書付出候段写を以、
逢有之

一、今朝、道役五郎右衛門忰富之助年礼三出、逢

同廿八日 晴

一、例刻出勤、四つ半時過退散○伝 奏会所出勤、八つ時過帰宅

一、小泉次大夫様御出、御目懸ル

一、ひて来、逢

同廿九日 曇昼後雨

一、例刻出勤○武州葛西領左二郷半領江懸ル用水懸渡井之義、二郷半
領惣代呼出及利害○同断帰宅

一、高橋平作御勘定組頭御取箇懸被 仰付候由

一、小泉様江呈書御貸付拜借願案上ル、御返書来ル

一、勝安兵衛来、逢

一、土佐守殿刻付廻状来、御書付写

二月朔日月次御礼有之段無急度、口上三可達事

御法事相済候二付而、来月三日 御本丸・西丸江惣出仕有

之候間、如例被相触候

正月廿八日

同晦日 晴風

一、例刻出勤、九つ半時過帰宅

一、文恭院様十三回御忌三付、上野 御成有之

一、八つ時比出宅斉藤・望月同道上野文恭院様 御霊屋江拜礼いたす、
熨目半袴着用、七つ時帰宅

一、夜中岡田利喜次郎江切紙到来、小林其右衛門父子、明朝五つ時召
連可罷出旨申来ル

○二月朔日 半晴

一、朝五つ時前出宅○下御勘定所江出ル○小林其右衛門名代渡辺慎次
郎、其右衛門忰小林金造召連罷出候処、願之通番代被 仰付候段
奉行衆被仰渡候旨、岡田利喜次郎申渡有之○ 御殿江罷出ル○
月次御礼申上ル○小林金造手当渡之義河内守殿被申渡、差引利喜

次郎○四つ時過退出○伝 奏会所出勤九つ時過帰宅
一、吉川友次郎妻来、初而逢

同二日 晴朝四つ時比地震

一、例刻出勤、同断帰宅

一、おきく義平出 孝盛院様七主回御忌二付、為拝礼増上寺江參、明六つ時出宅

一、たけ来、逢

同三日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、八つ時過出宅○高橋平作江御役替歡申置○江川太郎左衛門方江參

留守二付通申置、煮豆相贈ル○亀沢町屋敷江立寄、夕七つ時帰宅

同四日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、勝安兵衛江文通、返書来

一、吉岡栄之助江文通、返書并金子辰ル

一、河尻なうた来、ひみな料同人江渡遣又

一、杉浦正一郎来、逢、夜帰

同五日 曇昼後る雨

一、例刻出勤、九つ時過退散○伝 奏会所出勤、八つ時過帰宅

同六日 曇

一、例刻出勤○武州又兵衛新田抱屋敷差障出入及吟味○同断帰宅

但、初午前日二付半引

一、木村八郎右衛門妻来、初而逢

同九日 晴寒気強

一、初午二付、役所休日

同八日 晴

一、出懸望月江立寄談話○例刻出勤○九つ時過退散○伝 奏会所出勤

八つ時過退散○望月江立寄談話、八つ半時過帰宅

一、おきく昼後より出宅、安住院廿三回忌二付、押上長寿寺江為墓參

相越、梅莊江相廻、八つ半時比帰候由

一、小泉権十郎江之書状、孫八郎江渡又

同九日 晴

一、例刻出勤○上平井村惣右衛門江村方弁納金之義、及利害○望月る

昨日之案内話有之○同断帰宅

一、高橋松之助る龍太郎方江文通来ル、十四日御見分之由申来ル

同日 晴風

一、例刻出勤○途中長戸呂村仁兵衛直訴いたし、訴状取置○評席申渡

有之○九つ時退散○伝 奏会所出勤、八つ半時帰宅

一、朝四つ時過下谷長者町出火、無程鎮火いたす、右二付、河尻江七

郎遣、其外最寄江見廻使遣又

一、河尻江奥江見廻、すし・煮メ物等遣又よし

一、関捨四郎江文通、保右衛門方江志封、茶室箱人為持遣、受取来

一、設楽八三郎江志封、新五郎江渡又

一、関口謙助来、逢

同十一日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、森川出羽守殿方使者、領分之もの行徳領塩浜之義三付、取扱受世

話相成候三付、為時候見廻自分江綾織二反、元メ四人江金貳百疋

ツ、被相贈、留守中受取置候旨申遣候よし

一、内藤十郎殿入来、逢

一、小泉久太郎来、逢

一、設楽方書状、廻船方一条返書、孫八郎方受取

一、夜分おきく、市中江買物ニ參ル

同十二日 晴風

一、例刻出勤九つ時前退散○森川出羽守殿江相越、用人荒井郷左衛門

三逢、昨日贈物御礼申述ル○伝 奏御賄役所江出勤、八つ半時帰宅

一、後藤一兵衛・高橋纏之助方廻状到来、御鷹野方へ詰番持帰候由

明後十四日於植溜、悴共弓術御見聞有之候段越中守殿・安芸守殿

被仰渡候旨、御目付中を奉行衆江達書到来

一、夜五つ時過小石川柳町辺出火有之

一、河尻方うた来

一、設楽江志封、新五郎江渡○桑山圭助志封同断

同十三日 雨夕晴

一、例刻出勤、四つ半時過退散○伝 奏御賄役所江出勤、八つ時過帰宅

一、後藤一兵衛江文通、御見分濟、御届書之儀問合返書来ル

一、福王三郎兵衛・大草太郎左衛門江悴共御見分濟之節取計振為問合、

慎作・作助遣又

同十四日 晴昼後雨又晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、今日於植溜弓術御見分三付、正六つ時岩田半太郎来、逢、龍太郎

同道相越、若年寄衆御出座御見分無滞相濟、龍太郎中御見分貳本、

御目付見分一本之由、夕七つ比帰宅

同十五日 晴

一、朝五つ時過登^(平出) 城○月次御礼申上ル○龍太郎昨日弓術御見分

濟御届書、出役を以中之間江為差出候○大森善三郎江吉川友次郎

逢申込○下御勘定所江立寄○四つ半時過退出○伝 奏御賄役所出

勤、惣出○八つ半時帰宅

一、夜文蔵来、逢

一、蔵宿江源大夫遣、御借米扨代受取

同十六日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、留守江杉浦正一郎来、豊田利金持参いたす

一、朝仲谷十郎左衛門来、逢

男 淳 沢 西

同十七日 曇風小雨

一、例刻出勤、四つ半時過退散○伝 奏御賄役所出勤、八つ半時帰宅

一、ひて来、逢

同十八日 昨夜^ハ雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、浜御庭江^(平出) 御成有之、出役齊藤

同十九日 晴

一、朝五つ半時出宅○設楽八三郎去々亥御年貢皆濟御届書、如左出ス

○伊勢守殿 海上庄兵衛

○但馬守殿 兵藤嘉藤次

右差出○下御勘定所江出勤○宮部孫八郎元^メ取立荷相濟、岡田利

喜次郎達、承付いたし相返ス○伝 奏御賄役所出勤、藤方も出ル、

八つ半時帰宅

一、齋藤江文通、先達^而借受候参向御用書物不残返却、返書来ル

同廿日 朝晴小雨

一、例刻出勤、九つ時前帰宅

一、宮部孫八郎元^メ申付、本庄弼蔵・市川章十郎手代取立於役所申渡

同廿一日 昨夜^ハ雨

一、例刻出勤○新五郎・半兵衛昨日帰府、行徳領村々新開場見分いた

し候趣承ル○同断帰宅

一、新部屋申合有之、齊藤罷出ル

一、宮部潤八郎来、逢、八丈嶋老反・鯉節一箱到来

同廿二日 雨夕収

一、例刻出勤、四つ半時過退散○伝 奏御賄役所出勤、七つ時帰宅

一、朝吉住讓二郎江文通、夕刻来、豊田借用金之儀談遣ス

一、小高登一郎廻来、御取箇之儀^二付達義有之間、明廿三日四時罷

出候様申来

- 一、右廻状斎藤も連名二付、名代頼来ル、承知之旨申遣

同廿三日晴

- 一、朝五つ半時出宅、下御勘定所江出ル○去子御取箇伺之通相濟候旨
小高登二郎申達、斎藤名代相兼ル○今井小六郎方御勘定帳之儀二
付談有之、四つ半時過歸○役所出勤、武州二ノ江村場所吟味之儀
申渡、其外申渡有之○望月江立寄、逢、例刻帰宅
一、うた来、逢、夕刻帰ル
- 一、吉住讓次郎方今朝証文差越、受取置

同廿四日 曇

- 一、朝五つ半時役所出勤○評席申渡有之○新五郎・茂久左衛門手当増
申渡○四つ時過退散○伝平出 奏御賄役所出勤、八つ半時過帰宅
一、吉住讓二郎江文通、証文認メ替申遣、則認メ替差越
- 一、松村文蔵来、逢

同廿五日晴

- 一、朝斎藤・望月連名文通、今朝方伝平出 奏屋敷江相詰義申遣、持廻
承知之旨申越ス
- 一、小泉久太郎来、逢
- 一、朝五つ半時過出宅、伝平出 奏御賄役所江相詰ル、侍七郎召連ル、

藤方并御勘定方引越居、一回面会いたす

- 一、道具類、宅方差越ス
- 一、夜四つ半時過、役所引ル

同廿六日 朝雨昼方晴

- 一、暁七つ半時起ル○朝三衣為交代来、七郎相帰ス○夕刻用聞使来、
宅状并包相渡、差返ス○夜九つ時引ル
- 同廿七日 晴

- 一、朝六つ時起ル○朝啓二郎為交代来三衣帰ス、包為持遣ス○昼後用
聞使来、包遣○四つ時過引ル

同廿八日 晴

- 一、正六つ時起ル○朝七郎・啓二郎帰ス宅状到来○昼後用聞使来、宅
状遣○夜九つ時過引ル

同廿九日 晴

- 一、明朝六時起ル○朝三衣来、七郎帰ス○夜九つ時過引ル

○三月朔日 晴

- 一、正六つ時起ル○朝啓二郎来三衣帰ス○宅状来返書遣○九時過引ル
- 一、市川章十郎出役初来、油方伺案渡遣

同二日 半晴風

- 一、正六つ時起ル○朝三衣来、啓二郎帰ス、宅状来、返書遣ス
- 一、市川章十郎判物其外遣ス
- 一、夜五つ時過三衣宅江遣、包遣ス、四つ時過帰ス
- 一、夜九つ時過引ル

同三日 晴

- 一、明六つ時過起ル○啓二郎来、三衣帰ス○宅状来ル○用聞使来、返書并包遣ス○夜四つ時過引ル

同四日 曇夜雨

- 一、明六つ時過起ル○三衣来、啓二郎帰ス○宅状来○用聞使来、包遣ス○夜九つ半時過引ル

同五日 晴

- 一、明六つ時起ル○早朝啓二郎来、道具類不残相返ス○明六つ半時過、公家衆発興相濟、朝五つ半時過伝 奏屋敷引払（金也） 御殿江御届
- 二出、四つ半時過帰宅

一、望月を書通、一条之事申来

一、同人江返書、鱧老枚遣ス、斎藤江文通、御扣菓子遣ス

一、関口謙助来、逢

同六日 曇

- 一、朝望月江立寄逢、同道二例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、朝篠崎直一來、逢
- 一、小泉様江呈書、御留守、請取来

同七日 雨

- 一、出懸望月江立寄逢、例刻出勤四つ半時過退散○伝 奏屋敷出勤 八つ半時過帰宅
- 一、おみち、去二日を河尻江參、逗留いたし居候処、今日迎遣し、昼後帰ル

同八日 雨

- 一、例刻出勤、同断帰宅

同九日 曇夕晴

- 一、例刻出勤、九つ時退散○伝 奏屋敷出勤、八つ半時帰宅
- 一、朝市村丈右衛門来、逢

同十日 晴夕曇

- 一、例刻出勤○武州四つ木村紋次郎一通吟味之上手鎖・宿預申付ル○同州西一之江村地所出入、同州上内川村難波出入、及吟味○同断

帰宅

一、市村丈右衛門来、近藤平格証文持参、用立金廿両、おきくを渡遣、不逢

一、大熊江源太夫使者二遣、善太郎病死悔申遣、靈前江菓子一折贈ル、挨拶申来ル

同十一日 曇小雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、柴田重平来、逢

一、うた来ル

同十二日 半晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同十三日 曇

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○武州平井新田高請取計之儀二付、上書・別紙共式通皆川栄八郎江出ス○伝 奏屋敷出勤、九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、毛利左京亮使者、参向御用済二付、定例贈物金五百足、干鯛料金五拾足相贈、挨拶申遣ス
一、望月を文通、及返書

同十四日 晴

一、例刻出勤○本行徳村塩浜年延願、及利害、願書相下ル○武州長戸呂村仁兵衛、加賀守殿江駕訴状之内、旅僧埋葬いたし候一件、訴答及吟味、一同宿預申付ル○同断帰宅○皆川栄八郎江文通、昨日差出候平井新田御高請地取計書上、別紙之方出役を以相下ル

同十五日 晴

一、朝五つ時前登^(平出)城、月並御礼申上ル、四つ半時退出○芝清岸院江相越、弁当^(平出) 御位牌所拜礼いたし、院主逢^(立出) 大量院様御墓拜礼、其余^(平出) 御墓前拜礼いたし、八つ時比帰宅

同十六日 雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同十七日 雨昼後晴

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○今井小六江御勘定帳之儀二付、及引合○伝 奏屋敷出勤、九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○八つ時過帰宅

一、諏訪庄右衛門来、逢、又兵衛新田榊原越中守抱屋敷之儀二付、内談有之

同十八日 晴

一、浜御庭^{江出} 御成^{江出}二付、曉七つ時出宅、明六つ時 浜茶所^{江着}、朝五つ

時前^{江出} 御着船、暮六つ時前還御、例之通 御揚場^{江出}におみて兩度

御目見いたす

御規定

御供揃六時 御召場 辰之口
浜海手

松栄院様御入有之、御供揃曉七つ半時

若年寄出羽守殿・但馬守殿、御目付 戸川中務少輔
松本十郎兵衛

御船 御成天地丸 還御光陰丸

右相濟、暮六つ時過場所引払、夜五つ時過歸宅

一、留守中おおよ・おすみ・おたか同道^{江来}、おみち同伴、浅草観

音^江牛御前^江參詣、おみち^江者今夕刻歸候由

一、伝 奏屋敷御払候品、今日懸り之^江分引取ル

同十九日 曇

一、朝五つ半時出勤○武州長戸呂村倒死人取計一件、同州寺嶋村渡船

一件吟味其外申渡有之○九つ時退散○昨日 御成殘品其外御道

具見分いたす○伝 奏屋敷出勤、八つ時過歸宅

一、西井乙次郎来、逢

同廿日 風雨夕収

一、例刻出勤頼合、九つ時過歸宅

一、兼而打合之通、今日舅入いたし候^江二付、河尻^江一同參ル、おきく・

おみち^江者八つ時比出宅、自分・龍太郎^江者八つ半時比出宅罷越、家
内一統^江土産もの相贈ル、酒飯馳走^江成、夜四つ時過歸宅、おみ
ち^江者止宿いたす

一、出前、江川太郎左衛門来、逢

同廿一日 曇昼後晴

一、例刻出勤、同断歸宅

一、夕刻河尻^江おみち迎遣、暮合歸ル

同廿二日 晴

一、例刻出勤○寺嶋村^江罷在五左衛門一通及吟味○九つ半時歸宅

一、八つ時過出宅、齋藤・望月同伴、大根河岸^江乘船、牛込揚場上陸
青山録平方^江相越、林部參り居、一同会話、茶被振廻、五つ時前
退散、五つ半時過歸宅

但、勝田も參候積之処、風邪^江断、土産^江者一同より三つ割樽
酒相贈、昨日望月取計遣又

同廿三日 雨

一、朝栗原^(前)*十郎来、初^(前)逢

一、例刻出勤○武州長戸呂村一件吟味之上、仁兵衛入牢申付ル○同断
歸宅

一、関口謙助来、逢

一、望月^左書通有之

同廿四日 晴

一、例刻出勤○武州寺嶋村ニ罷在候五左衛門、及狼籍候一件引合之も
の共一同相糺、始末書申付ル○同断歸宅

一、都筑金三郎、今日佐渡奉行被 仰付候由

一、右為持受立候積申合候処、斉藤^左断差越、自分も用事有之、見合
其段望月^江及書通

一、おたの、ひて召連来、夕歸

同廿五日 曇夕雨

一、朝五つ時過出宅○都筑金三郎方^江罷越、宅来^(奉)二逢、昨日御役替飲
申置○伝 奏屋敷出勤弁当、八つ時過歸宅

一、おかよ、おすみ同伴来、止宿

一、吉田定之丞方^江七郎遣、及書通

同廿六日 雨夕晴

一、朝五つ時前式部少輔妻おたか来一同逢、銘々^江土産到来、勝安兵

衛も来、河尻家内一同おきく・おみち同伴即刻出宅、浅草边^江遊

行いたし、夜四つ時比一同歸宅、夫より四つ半時比河尻方家内共
一同歸ル

一、昼後河尻^江龍太郎参、無程歸宅

一、例刻出勤○長戸呂仁兵衛吟味、歸牢申付ル○同断歸宅

同廿七日 晴

一、例刻出勤○武州又兵衛新田とり、相手同村伊兵衛人別人故障出入
及理害○九つ時比歸宅

一、仲谷十郎左衛門来、逢

一、九つ半時出宅野服、鈴木尚太郎召連○柳原油搦所見廻、請負人共
案内三出、懸岡田半兵衛相越又○西葛西領隅田村御囲殻藏見廻、
破損所目論見之場所夫々見方いたす○同村名主啓七郎宅小休、夕

七つ半時歸宅

一、右大將様王子筋^江被為^(平) 成、出役齋藤

一、亀沢町組合内為非常廻、昼夜共家来出入

同廿八日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅

同廿九日 雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅

一、近々駒場野^{平出} 御成二付、御用有之候間、明晦日四時^{平出} 御城江

可罷出旨、出羽守殿被仰渡候段御目付^{平出}御勘定奉行江達有之候旨、

詰番申出候二付、自分罷出候積、御規定帳受取置

一、朝勝安兵衛来、逢

一、夜二入豊田^{平出}方使、書通、及返書

同晦日 晴

一、朝五つ半時登^{平出} 城、〇四つ半時過新部屋申合有之、明後二日

五時御供揃^{平出}二而駒場野追鳥狩 御成被 仰出、右御規定向例之

通頭取^{平出}方達有之〇松井助左衛門被為 召、御勘定吟味役被仰

付候〇九つ時過帰

〇後藤与兵衛^{平出}方寺嶋村土取之儀二付、年寄安兵衛外老人不埒之

取計いたし候由之書付式通差越、取締方いたし度旨申聞、承

知之段及挨拶、受取

〇本行徳村孝行御賞美願書、目付直受度旨、中嶋鉄三郎申聞、

受取新五郎^{平出}江渡又

〇亀沢町貸地之儀、松野熊之助^{平出}江及催促

〇役所出勤〇武州八子新田村役人取極方詠答、及利解〇武州上

小松川村役人^{平出}方船堀村主膳外老人江懸勘定出入、一通及吟味

〇例刻帰宅

一、屋代増之助来、御役替吹聴申置

昨廿九日分

一、都筑金三郎来、右同断

〇四月朔日 晴

一、朝五つ時、早又出宅〇松井助左衛門^{平出}江御役替歛申置〇登^{平出} 城

月次御礼申上ル〇亀沢町屋敷之内、西尾^{平出}水江貸願、土佐守殿御

聞届之旨、高橋鍾之助^{平出}方達書請取〇四つ半時退出〇伝 奏屋敷出

勤〇九つ時過帰〇役所出勤〇武州寺嶋村渡船一件取扱申渡、外申

渡もの有之〇例刻帰宅

一、昼後望月来、逢

一、斎藤^{平出}江文通、船割合銀式匆五分遣久、為差置候

同日 晴

一、朝五つ時過出宅、西葛西領村々新田検地相越、石賀新五郎・鈴木

尚太郎・岡田半兵衛召連ル〇深川海辺新田松平越後守抱地見取場

検地、同人抱屋敷統庭中二相成居、建家等有之、家来如左出逢〇

留守居吉田権平・屋鋪預渡部宗兵衛・作事目付数見伝作、越後守

方自分^{平出}江金三百疋相贈候間、伺之上可及挨拶旨為申達ル、手付共

三人^{平出}江も贈物有之、同様申達置〇同村百姓松次郎抱屋敷明地及見

〇同村秋元但馬守抱屋敷内見取場検地、家来如左出逢、田中新右

衛門・押田六兵衛〇同所^{平出}二而弁当〇八右衛門新田油絞所見請負人

平兵衛宅小休〇深川東町横川緑油種晒場見分〇深川浄心寺抱屋

敷内見取場見分、庫裏庭中^{平出}并表門前左右二有之、右庭^{平出}并門前地^{平出}著建

一、屋も有之、高請可相成場所ニ付、村役人江取調可申達旨申付ル○
大川際御船蔵通櫛植場其外一通及見置○右相濟、八つ半時前帰宅
一、駒場野追鳥狩^(平出) 御成有之、出役望月
一、おたの軽物使、北村藤次郎方夕刻帰ル

同三日 晴

一、朝五つ時過出宅、手付三人昨日之通召連、新田檢地相越○越中嶋
新田紀伊殿抱地野永場檢地、同家役人如左出ル、勘定池端石次郎・
作事方改役森角輔・作事方中村^源平、同手代小沢角次郎、同見分
役村田紅助・同棟梁菅沢熊次郎右一同逢○同村松平安房守抱屋敷
内住居^(下) 宅弁当、越中嶋新田地先芥捨場海辺芝地受地願場所
見分○海辺新田柳原式部大輔抱地見取場檢地、留守居内山平蔵出
逢、式部大輔自分始下々迄贈物有之、伺之上可及挨拶旨申達○
同村松平越中守見取場見分、家来共案内いたす○右相濟、夕七つ
半時過帰宅

一、留守江望月^江書通有之

一、松永善之助来、申置

同四日 晴風

一、朝望月^江書通、及返書
一、朝五つ時過出宅、新田檢地懸手付三人召連ル○海辺新田松平阿波
守抱地見取場御高人場所檢地、留守居森戸丞介其外家来共出逢、

屋夕飯共阿波守^江出入、場半通檢地相濟、残地著明後六日罷越候
積、村役人^并家来^江も逢、夕七つ半時過帰宅

同五日 曇昼後雨

一、例刻出勤、四つ半時過帰宅○出勤懸望月^江立寄
一、九つ時前出宅、伝 奏屋敷出勤、今日^三全御用濟、一同引私、八つ
時前帰宅
一、岸本金八郎^江奉札、来ル八日敬信院様三回忌御相当之處、明後七
日東漸寺^三法事修行、右志重之内相贈候旨を以、饅頭一重到来
一、大熊鐸之助^江奉札、来ル九日大善院四十九日相当志重之内相贈候
旨^三、餅到来

同六日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅
一、浅井宗寿来、逢

同七日 半晴

一、敬信院様三回忌御法事有之候由ニ付、浅草東漸寺^江為代香源太夫
差遣、御香奠五拾疋相備、おるちる相備候御花料も為持遣○夕刻
奉札^三、御待夜ニ付焼麩^江重御晝前^江相備ル
一、例刻出勤○斎藤^江及内談○武州上平井村疵付出入吟味下願、疵所
見届、帰村申渡○同断帰宅

同八日 曇

- 一、朝五つ半時過役所出勤○武州平沼村打擲出入、疵所見届、一同帰村申付ル○直ニ退散より海辺新田検地相越、懸手付三人召連ル、松平弾正大弼抱屋敷見取場、去ル四日検地打残之ニ分検地相濟、昼夕飯共阿波守を差出入、夕七つ半時過帰宅

同九日 雨

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、浅井宗寿来、逢

同十日 雨昼後晴

- 一、例刻出勤○武州上西ノ江木松川村喜右衛門質地出入、及利害○同断帰宅
- 一、仲谷十郎左衛門来、申置

同十一日 晴風

- 一、例刻出勤、九つ時前退散○伝 奏屋敷江臨時出勤、諸方御入用相渡九つ半時過帰宅

一、朝松村文蔵来、金子渡遣ス

一、旧冬おかよ引移濟、内祝申付、配り物いたす、如左○近藤○河野

○宗寿○玉江

一、都筑金三郎・松井助左衛門江御役替歡結状ニ而鱈節志箱ツ、遣ス

同十二日 晴

- 一、例刻出勤○寺嶋村土取いたし候ものゝ金子為差出候始末吟味、年寄安兵衛手鎖・宿預申付、引合一同及吟味○同断帰宅
- 一、おかよ内祝、配りもの如左遣ス
- 斎藤○望月○松平○安藤○おるち○おつけ○松坂や

同十三日 雲昼後雨

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○平出御殿江出ル○松平越後守・榊原式部大輔・水野土佐守贈物伺書高橋鍾之助を以差出候処、受用可致旨土佐守殿被仰聞候段、鍾之助申聞ル○明日行徳領検地出立之積候処、参向御賄御用御褒美願、今日進達相成、近々御沙汰可有之旨、中村為弥其外申聞候ニ付、延引いたし、其段出役江申達ス○九つ時帰宅○武州上平井・吉川平沼村打擲出入落着、駒形村変死人一件、同断申渡○例刻帰宅

一、昼後龍太郎、河尻江参ル、夜ニ入歸ル

一、おかよ内祝重之内、如左遣ス

○豊田○其右衛門後家○北村藤次郎○茂久左衛門○潤八郎○小板

隠居○関口謙助

一、留守江今堀を晝通有之

同十四日 朝雨曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、今堀江昨日之返書、明日可参旨申越候義、断遣ス

一、おかよ内祝配りもの如左遣ス

○花月堂主人○文感○さく

同十五日 曇

一、朝五つ時出宅、登^(平出)城、月次御礼申上ル○田口小右衛門江寺嶋

村安兵衛不埒之取計いたし候始末、及内談○四つ時比退出○斎藤・林部同步、木村敬蔵方江参、組頭被 仰付候歎申置、四つ半

時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、河野七太郎悴婚姻^(平出)二付、昼後^(平出)同家江 御母様御出、^(命)歎白縮

緋壺反相贈、御持参被遊候、御止宿明後日御迎上候積

同十六日 曇夕晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、龍太郎大森村町打場江為稽古手伝相越、斎藤辰吉其外同道、暁七つ

時前出宅、夜四つ時帰宅

一、木村敬蔵江御役替為歎結状^(平出)二而躰節一箱遣ス

一、西丸新部屋申合有之、斎藤罷出ル

同十七日 晴

一、朝五つ半時出宅、斎藤・望月同道上野^(平出) 御宮拜礼いたし、四つ

時過帰宅

一、御母様御迎、昼後河野江差出、夕七つ時過御帰

一、明十八日^(平出) 右大将様、橋場筋 御成之義、例之通河内守殿方

三名^(平出)達来、御請取調、御鷹野方^(平出)差越一覽遣ス

同十八日 半晴

一、右大将様橋場筋 御成二付、明ヶ六つ時過出宅、出役いたす、五つ

時過橋場総泉寺江罷越、小普請方黒川嘉兵衛・御豊奉行金田藤七郎面会いたし、四つ半時過御膳所 御入込、九つ半時前還^(平出) 御

例之通一回両度^(平出) 御目見いたす

御規定

御供揃、六つ半時 御供右京亮殿^(平出) 御成、還 御共御船 御

目付山岡八郎左衛門

右相濟、八つ時前帰宅

同十九日 晴

一、例刻出勤○武州上内川村勘兵衛^(平出)八兵衛懸り候地所出入、吟味其

外申渡もの有之○同断帰宅

一、おきく・おみち同道、昼後^(平出)山谷痔之神参詣、夕^(命)

一、刑部卿殿、明後廿一日羅漢寺筋江御出二付、例之通用人^(平出)懸合有之、

三名返書見届遣ス

一、おたの、金子之儀二付、北村藤次郎方江昇三郎遣ス

同廿日 晴

- 一、朝五つ時出宅、新五郎・尚太郎・半兵衛召連、大根河岸江乗船○西葛西領越中嶋海辺新田河岸受地願場所見分、平井新田受地見分いたし、洲嶋崎上陸○海辺新田柳原越中守抱地見取場御高入願場所見分、分問いたす、家来共罷出一同逢○深川浄心寺弁当、同寺庭先見取場御高入願場所見分、分問いたす○海辺新田八左衛門江町家作御免地売買値段内調申付ル○龜沢町屋敷江立寄、八つ時過歸宅

- 一、朝齋藤江書通、荒地取計調書一冊相返又

同廿一日 晴

- 一、例刻早又出勤○武州土場村惣左衛門・同人忰政五郎博奕其外吟味入牢申付ル○柳嶋村無宿勇吉輕追放・御仕置人足寄場入申渡、其外申渡有之○同断歸宅
- 一、坪内舍人江書通、肴到来、役所二而及返書
- 一、諏訪庄右衛門江書通、尾州殿抱屋敷之儀二付、内答申来、留守受取為遣候
- 一、宗寿来、逢

同廿二日 雨

- 一、例刻出勤○同断歸宅

同廿三日 晴

- 一、例刻出勤、同断歸宅
- 一、諏訪庄右衛門江一昨日之返書、移扇二本遣入、留守受取来ル
- 同廿四日 晴
- 一、例刻出勤、同断歸宅
- 一、諏訪庄右衛門江昨日之再答并一種来、受取為遣候
- 一、多羅尾久右衛門江長寿もの御手当御礼廻頼来、承知之旨為申達候

同廿五日 曇

- 一、朝五つ時過出宅○設楽八三郎去子年御年貢皆済御届如左出ス
- 伊勢守殿 山岡勝士
- 但馬守殿 山本匠作
- 松平伊賀守殿江多羅尾久右衛門支配所長寿もの御手当米被下候御礼申置○下御勘定所江出ル○吹上武術平出上覽三付、御老中方五つ半時登 城有之○土佐守殿○河内守殿○後藤一兵衛前条多羅尾名代御礼申置○豊田藤之進江立寄逢、九つ時過歸○役所出勤○評席申渡有之○例刻歸宅
- 一、松平阿波守江使者鈴木与右衛門来、先日抱地檢地に付、世話相成候由を以銀三枚相贈候間、伺之上、可及挨拶旨申遣入

同廿六日 晴

一、例刻出勤○武州八右衛門新田明家江居込罷在候市中人別与兵衛吟味入牢申付ル○同州寺嶋村五左衛門及不法候始末、一同口書申付ル○同断帰宅

一、後藤一兵衛方切紙来、自分義明廿七日四時^{平出} 御城江罷出候様伊勢守殿被 仰渡候段、名代花田鉄太郎江土佐守殿被仰渡候旨申来、御書付写差越候二付、承知之旨返書、為取調出役を以一兵衛宅江遣入

同廿七日 晴

一、今日被為^{平出} 召候二付、朝五つ時過登^{平出} 城○四つ半時過御廻り之節、御席始ル

銀七枚

御勘定組頭

中村 為弥

御代官

竹垣三右衛門

藤方彦市郎

公家衆御賄向
御用骨折相勤
候二付、拝領物被

勘定吟味方改役

笹本茂三郎

仰付之

銀拾枚宛

御勘定

西村 環助

銀五枚

花田鉄太郎^本

右於御右筆部屋掾類、伊勢守殿被 仰渡、但馬守殿侍座、差添土佐守殿・松井助左衛門、差引御目付貴志孫太夫、但横麻上下足袋用被仰渡、一同三人ツ、式行、御障子之方下御礼之節、同断拜領物者御障子之上三人ツ、式度三出ル○右相濟、奉行衆其外御礼申述ル○参向懸手付・手代共江御手当別段御手当共被下候段、自分・彦市郎、河内守殿被申渡、差引中村為弥○九つ時過退出○岡田利喜二郎方堀切村其外花苜蒲之儀二付、内談有之○西丸江御礼二出ル、謁御目付山岡八郎左衛門○廻勤

松平伊賀守殿 松平玄蕃頭殿 牧野備前守殿

本庄安芸守殿 川路左衛門尉殿 内藤紀伊守殿

酒井右京亮殿 本多越中守殿 遠藤伯馬守殿

鳥居丹波守殿 松平和泉守殿 久世大和守殿

阿部伊勢守殿 森川出羽守殿 本多加賀守殿

松平河内守殿 石河土佐守殿 中村 為弥

右之外、屋代増之助江御役替申置、八つ半時帰宅

但、退出方駕籠

一、齋藤江文通、返書来

同廿八日 晴

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出ル○明日檢地出立之義、差出方懸并組頭江申達○^{平出} 御殿江出ル○月並御礼申上ル○明日檢地出立之儀中之間組頭江申達、御勝手方奉行衆江申上ル、四つ半時前

歸○役所出勤○西葛西領小梅・隅田・寺嶋・須崎村役人呼出、花
菖蒲、田畑地江作ル間敷旨申渡、心得方申諭、証文申付ル○例刻
帰宅

同廿九日 曇

一、下総国行徳領村々新田検地并新開場見分、其外御用^与して朝五つ
時過出立、石賀新五郎・鈴木尚太郎・岡田半兵衛召連ル、大根河
岸^方乗船、大川通^方小名木川通江戸川通船、四つ半時過本行徳村
着船、同村名主権三郎宅小休、弁当○市川村名主次郎兵衛宅休、
同村字堰向反高御高人場検地相濟、夕七つ半時過石次郎兵衛宅江
帰、泊
○御用済真間弘法寺參詣、遍覽亭眺望○鴻ノ台崇寧寺^總僧案内為
致、旧跡所々一覽

同晦日 半晴

一、朝五つ時出立○市川村名主次郎左衛門江逢、六諭衍義二冊遣○西
海神村弁当○船橋海神村田見取御高人場検地○船橋五日市村外
千葉郡境^方海岸見分○同九日市村御高人願場見分○西海神村沼
見取御高人場検地、同村塩浜旨分、同村名主八郎左衛門宅江夕七つ
時比着、泊○八幡村八幡宮參詣

○五月朔日 晴昼後風

一、朝五つ時過出立○名主次郎左衛門江六諭衍義一冊遣又○下新宿村
田見取御高人場検地○二俣村海岸新塩浜願場見分○本行徳村江
戸川縁屋敷見分御高人場検地、同村名主権三郎宅休、弁当○加藤
新田差浜御高人場検地○本行徳村新塩浜御高人年延願場檢見分、
夕七つ半時過本行徳名主権三郎宅江立戻、泊ル

同二日 雨八つ半時過雷気

一、朝五つ時過出立○湊村并同村新田地先村田村次郎左衛門願新塩浜
場所并欠真間村同断願場所見分○湊新田畑見取御高人場所檢地
同村弁当○欠真間村田見取御高人場検地○猫実村畑并屋敷見取御
高人場検地○同村海岸新開願場所并堀江村境川縁堤外新開願場見
分○欠真間村百姓伝七宅江八つ半時過着、泊

同三日 半晴夜中雷雨

一、朝五つ時前欠真間出立、江戸川乗船○堀江村海岸新開場見分○硯^規
島見分○中川通西縁村々外嶋見分、見取受願場見分○小名木川・
中川番所上手^方乗船、四つ半時過帰着
一、昨日和田勝兵衛切紙達二付、三分名代兼望月御殿江罷出候処、
西丸御普請二付、万石以下百俵已上上納金取扱方被 仰付候段伊
勢守殿江伺之上、土佐守殿申渡有之候段、茂久左衛門申聞ル
一、斎藤・望月江書通、今日帰着之旨申遣又
一、河尻江奥^方鱈・蛤・キサゴ等遣又

同四日 曇昼後雨

一、朝五つ半時出宅、服紗麻^二而西丸御普請^三付、上納金取扱方被

仰付候御礼、伊勢守殿・但馬守殿^江申置○下御勘定所^江出ル、平

服着替○昨日帰府いたし候段差出方^江達、組頭^二も申達○^{平出}御

殿^江出ル、土佐守殿・河内守殿^江昨日帰府、新開場之儀等申上ル

○中之間組頭^江帰府届申達ス○九時過帰○役所出勤、例刻帰宅

同五日 晴

一、朝五つ時登^{平出}城、端午御礼申上ル、四つ時前退出○西丸上納

金取扱被 仰付候御礼、土佐守殿・河内守殿^江相越、申置○嶋田

帯刀御書物奉行被成候歎申し置○御成先諸色見分いたす○四つ

半時過帰宅

一、猫実方取寄候肴、順三郎^江遣、返書来

一、右肴おるち方^江も遣又

同六日 半晴

一、橋場筋 御成^二付、明六つ半時出宅、五つ時前御膳所橋場村総泉

寺^江相越、小普請方黒川嘉兵衛、御豊奉行金田藤七郎其外出役面

会、九つ時前 御入込、九つ時過還^{平出}御、例之通^{平出}向度^{平出}御

目見いたす○下宿橋場町門口○河尻帯刀総泉寺も来、逢

御規定

○御供揃六つ時過○御供若年寄越中守殿

○御成、還 御共御船

右相濟、嘉兵衛同船いたし、大根河岸の上陸、八つ時過帰宅

同七日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、八つ時比呂井町辺出火^二付役所^江出、御貸付役所^江も出ル、直^二帰

宅

一、右^二付、杉浦正一郎見廻^三来、逢、諸向出火見廻使来ル

一、おみち夕刻^二河尻^江参、止宿

同八日 晴

一、例刻出勤○本船町与兵衛、八右衛門新田^江居込居候始末口書申付

ル○同断帰宅

同九日 半晴

一、例刻出勤○武州青戸穢多共及不法候一件落着申渡、弾左衛門代^江

引渡遣○同断帰宅

一、一昨七日近火見廻諸向^江挨拶状為差出候

一、夜八つ時過神田佐久間町出火、六つ時頃鎮ル

一、右^二付、河尻^江為見廻龍太郎相越、勝^江も参候由

一、河尻・勝^江見廻、握飯・煮^二遣ス、其外最奇^江見廻として使遣ス

同十日 雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

○当春参向之公家衆御賄御用相勤候懸三人并取人手付・手代共
一同呼出、御手当并別段御手当被下方役所ニおゐて申渡、一同
御役宅江礼ニ出ル

同十一日 朝雨曇

一、例刻出勤、同断帰宅

同十二日 半晴

男 淳 沢 西

一、例刻出勤○大豆油請負人共江上油三匁八分、並油三匁四分ニ直段
上候段申渡、其外申渡有之○同断帰宅

一、朝杉浦正一郎来、逢

一、勝安兵衛来、逢す、役所留守中也

一、おみち夕刻河尻カ帰ル

同十三日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、勝権一郎明日被為平出召候段、為知奉札来ル

同十四日 晴

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○下総国高須賀村外六ヶ村

式役免除之儀ニ付、何方中川茂作江及談、書付老通相達ス○手代
大須賀用介暇伺書、登一郎江出ス○吉田半左衛門カ北国筋廻船御
手当渡方伺書之儀ニ付、内談有之○井上新右衛門方江相越、先般
布衣被 仰付候歎申置○羽田龍助江相越、病氣見廻申置○都筑金
三郎近々佐渡出立ニ付、暇乞申置、不快ニ付不逢○九つ時過帰○
役所出勤○武州大場村博奕一件吟味いたす○例刻帰宅

一、望月カ文通、及返書

同十五日 半晴

一、頼合在宿

一、おきく・おみち同伴、高田馬場流躰馬為見物、曉七つ時出宅相越、
河尻江秩引合参ル○勝権一郎方江御番入歎ニ立寄、夕七つ時比帰
宅

一、龍太郎、斎藤辰吉同伴、右同断見物与して正六つ時出宅参、九つ
半時過帰宅

一、篠崎直一郎呼平カ来、逢

一、設楽出役手代罷越、廻米方カ下候北国筋廻船御手当伺書、持参差
出候間、一覽いたし、設楽江之書状一封渡遣ス

同十六日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、出前篠崎直一郎、逢

一、三岡助五郎来、逢

一、夕刻役所再出勤、武州松伏村久右衛門人殺一件吟味、同人入牢申付ル、相濟帰宅

同十七日 曇夕雨

一、朝五つ半時過出宅、勝権一郎去ル十四日大御番江御番人被 仰付

候歎ニ參、隱居其外逢、四つ時過帰宅

一、例刻出勤○櫛植場縊死人落着申渡○同断帰宅

一、坪内舍人入来、逢

同十八日 雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、河尻帯刀ノ文通、朝比奈兵八郎抱屋敷之儀ニ付、同人書取、通差越及返書

〔二行見えず〕

同十九日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

同廿日 朝雨昼後晴

一、例刻出勤、同断帰宅

同廿一日 半晴

一、朝五つ半時出宅○多羅尾久右衛門去子皆濟御届出ス○伊勢守殿用人海上庄兵衛、但馬守殿用人松井勘右衛門○下御勘定所江出ル○墨田村御囲蔵御修復一条菅浪辰之助江引合○若尾平九郎取人再願書小高登一郎江出ス○行徳領塩納之儀ニ付、安高経之丞江及引合
○^{平出} 御殿江出ル○小岩・市川御関所番申立候儀書上、高橋鍾之助江出ス○松平阿波守・秋元但馬守贈物伺書同人江出ス、土佐守殿御聞濟之旨鍾之助相達ス○土佐守殿・河内守殿江設察八三郎場所替之義申上置○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

同廿二日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、八つ時過出宅○中村英太郎江近火見廻挨拶申置○亀沢町屋敷江參、夕七つ時過帰宅

同廿三日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、おかよ泊懸ニ參、八つ時比相越、土産菓子到来、浅草観音江參詣夕刻帰ル

一、嶋田帯刀来、逢

一、三岡助五郎来、逢断

同廿四日 半晴

- 一、例刻出勤○上鎌田村平左衛門、相手西小松川村役人共江懸伝馬賃
錢滯出入、鹿骨村弥七外巻人江取扱申付ル○武州中嶋村吉次郎博
奕吟味、宿預申付ル○頼合、九つ時過帰宅
- 一、八つ時過を河尻帯刀来、五つ時比返帰ル
- 一、夜文蔵来、逢、金子請取

同廿五日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、おきく・おかよ・おみち同伴、八つ半時出宅、大根河岸を乗船
隅田川辺江参、暮六つ時過帰宅

同廿六日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅○八つ時再出勤○本船町与兵衛、同人女房り
つ、右町新兵衛并町役人江引渡○武州上鎌田村平左衛門、相手西
小松川村佐次右衛門外三人、伝馬賃錢滯出入、濟口承届ル○帰宅
- 一、おかよ七時過比迎参、河尻江帰ル、土産重詰菓子折、其外遣入、
武左衛門江逢遣入
- 一、ひて来、逢
- 一、昇三郎江文通、売居之義申遣

同廿七日 晴

- 一、例刻出勤○中川番所前川湊受負入札申付、開札之上亀高村次郎兵
衛落札二付、吟味洩申付ル○同断帰宅
 - 一、関捨四郎来、逢
 - 一、都筑源七郎江文通、金三郎近々佐渡出立三付、餞別蠟燭一箱遣入
- 同廿八日 晴
- 一、例刻出勤、同断帰宅

同廿九日 晴

- 一、例刻出勤○武州松伏村久右衛門及不法、同村善左衛門変死一件口
書其外申渡有之○同断帰宅
- 一、河尻帯刀江文通、明日参候義断遣、返書来
- 一、吉田定之丞来、逢

六月朔日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、昼前おみち、八つ時過 御母様・龍太郎追々河尻江参ル、今般流
鑪馬懸拜領物内祝二付、被相招候、おみち者止宿 御母様者夜五つ
時過御帰、龍太郎も同断

同二日 晴

一、例刻出勤○行徳領猫実村其外新開場懸与して、新五郎・半兵衛遣ス、朝出立○同断帰宅

一、松平越中守る時候見廻贈物有之

一、多羅尾久右衛門の書状、名代挨拶肩衣地一・茶一箱到来

同三日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、朝仲谷十郎左衛門来、逢

一、おみち、河尻の夕七時半時過帰宅

同四日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、齋藤の望月連名持廻文通、大森出役相濟帰候由申来ル

一、おかよ方江使遣、式部少輔不快^二而、昨日引込よし^三付、見廻菓子

相贈ル、おかよ方返事来

同五日 晴八つ時過雷氣過雨

一、例刻出勤○同断帰宅

一、多羅尾江之返書老封、孫八郎江渡

同六日 晴 八つ時過 暑九十四度半

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、朝勝権一郎来、逢

同七日 晴 八つ時過 暑九十六度

一、例刻出勤、同断帰宅

一、齋藤江文通、暑氣払相贈、返書来

一、同人の望月連名文通、明日出立相延候義申来

同八日 半晴

一、朝五時半時出宅○下御勘定所江出ル○石盛伺之義前原八十郎江引

合○石炭之義下妻市蔵江及示談○^(平出) 御殿江出ル○異国船渡来^二

付、取計之義、岡田利喜一郎江引合○九つ時帰○役所出勤、例刻

帰宅^(平出) 御殿^二而河尻帯刀江逢、式部不快医師之義詰置

一、浦賀表江異国船渡来^二付、海岸為取締東西葛西・行徳領江向鈴木

尚太郎差遣ス、昼過出立いたす

一、異国船内海江乘込候節之儀^二付、御書付奉行衆連名廻状刻付^二而到来

同九日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○昨日御書付候義^二付、非常心得方一

通望月打合之上、新五郎并山口順造・田中第五郎等も呼出、心得

方申達、出役割等取極置、且又御鷹野方心得方等も頭取江申達置

八つ半時過帰宅

一、関捨四郎・杉浦正二郎来、逢

一、齋藤、浦賀表江向、今暁七つ時出立のよし

同十日 晴

一、朝五つ時比田中第五郎来逢、昨九日酉上刻出、齋藤出役先御用状

来、異国船四艘共夏嶋・猿嶋沖合江入込、細川越中守手^二而打払

一用意いたし、異船右場所^二止り居候段申越候旨申聞 ^(平出) 御殿江御

届、差出方申談遣又

一、例刻出勤、同断帰宅

一、夜九つ時田中第五郎来、逢、異船大崎津江人待遣申由

同十一日 晴夕雨

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○手代大須賀用介暇伺相済

小高登二郎相達、例之通承付出役^レ懸江差出ス○ ^(平出) 御殿江出、

九つ時過帰○役所出勤○望月干飯之義^二付、 ^(平出) 御殿江出、直^二

退帰○例刻帰宅

一、中村忠右衛門来、逢

同十二日 晴夕雨

一、朝望月^レ文通、齋藤出役先^レ昨十一日付連名書状到来^二付、返書

認メ差越、一覽之上田中第五郎江為相渡、望月江及返書、齋藤書

状者自分方江差置

一、例刻出勤○明日^レ浜御殿江出、大筒相廻候^二付、御鉄砲方其外御

賦被下方、御勘定所^レ達有之、御鷹野方江申達手配いたす○本行

徳村江岡田半兵衛遣入、右者房州御備場江松平下総守人数差遣候^二

付、人足百人、馬五十疋差出方之義、御勘定所^レ達有之、即刻出

役申付ル

一、浅井宗寿来、逢

一、八つ半時過、新五郎出ル、齋藤出役先^レ御用状到来、同人義昨

十一日朝浦賀表^二おゐて、戸田伊豆守江面会いたし候処、異船四

艘共明十二日出帆可致由申聞、猶又昨十一日申刻、異船不残走水

沖合江懸留、弥^(モ)昨十二日出帆可致趣、懸与力申聞候段、浦賀町役

人共申立候御届書差越、河内守殿御宅江差出候旨、第五郎申聞候

段申出ル

一、朝出懸齋藤江立寄、妻・恠^二逢

同十三日 晴夕連雨

一、八州廻吉岡静之助、今朝浦賀辺^レ帰府、異船昨十二日辰刻不残帰

帆いたし候趣、新五郎宅江相越申聞候段同人出、申聞ル

一、例刻出勤、同断帰宅

一、夕七つ時大根河岸^レ乗船、御鷹野方一同浜御殿江出役、茶所其外

見廻、御鉄砲方^二面会いたす、夕^并夜食之分向々江相渡、夜五つ

時過帰宅

○齋藤浦賀^レ程ヶ谷泊^二而夕刻帰府之由^二付、帰懸立寄申置

一、異国船四艘共、昨十二日退帆いたし候段御書付出ル

同十四日 晴 暮六時一分十用

一、朝杉浦正一郎来、逢

一、例刻出勤○評席申渡有之○浜御賦人数相減廻し方いたす○同断帰宅

一、斎藤方文通、出立之節、暑払葉遣挨拶申越、水飴到来

同十五日 晴

一、山王祭礼二付、役所休日

一、明ヶ六つ時過出宅、染帷子麻、暑中見廻

井戸対馬守 大和守殿 和泉守殿

但馬守殿 丹波守殿 池田播磨守

右京亮殿 越中守殿 川路左衛門尉殿

安芸守殿 備前守殿 紀伊守殿

玄蕃頭殿 伊賀守殿 伊勢守殿

出羽守殿

右相仕廻、朝五つ半時過帰宅

一、暑気見廻、丹羽五左衛門其外来人有之

同十六日 晴

一、朝五つ時前登^{平出} 城○嘉祥御規式、阿古屋頂戴^{平出} 御不例二付

^{平出} 出御無之 ^{平出} 右大将様 出御○九つ時過帰宅

一、嘉祥二付、役所休日

一、山本福蔵、坂本鉉之助書状持参、逢

一、宮部潤八郎来、逢

一、暑気見廻来人有之

同十七日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、杉浦正一郎来、留守不逢

同十八日 晴

一、役所頼合及文通

一、朝五つ時過出宅、暑気見廻○印通△弁当

石尾彦四郎 大澤三七郎 本多加賀守殿

羽田 龍助 岡田利喜二郎 田口加賀守

松井助左衛門 石河土佐守殿○久須美六郎左衛門

松平河内守殿○河野七太郎 中嶋佐渡守

青山 録平 竹内清太郎 △小泉次太郎^夫

丹羽五左衛門 立田岩太郎 ○内藤茂之助

塚越 藤助 小高登一郎 ○豊田藤之進

○勝 権一郎 ○河尻式部少輔

右相仕廻、七つ時過帰宅

一、大澤三七郎来、通、諏訪庄右衛門申置、其余暑氣見廻来人有之
一、夕齋藤江文通、葛切遣

同十九日 半晴

一、例刻遲出勤、例刻帰宅

一、朝河尻帶刀来、逢

一、斎藤方昨日之返書、移到来

一、暑氣見廻来人 松永善之助 岸本金八郎

森 鐘太郎 吉田定之丞 金井伊太夫

中村八太夫 根来五左衛門 西尾寛一郎

外来人有之

同廿日 晴

一、役所頼合二分江及書通

一、朝五つ時過出宅、暑氣見廻

松永善之助 森 鐘太郎 金井伊太夫

西尾寛一郎 小泉様休息 根来五左衛門

坪内 舍人 中村八太夫

右相廻、四つ半時過帰宅、九つ時過再出

松本十郎兵衛 柑本兵五郎 本多 寛司

高橋 平作 亀沢町屋敷 関 捨四郎

杉浦正一郎

右相廻、夕七つ半時帰宅

一、暑氣見廻来人有之

一、江川太郎左衛門方一紙到来、今般御用有之、出府いたし候処、今

十九日御勘定吟味役格被^{平出} 仰付、勤候内御役料三百俵被下、

御老中支配、尤御代官勤方之儀者諸事只今迄之通相心得、御勘定

奉行得差函相勤、向後中之間江相詰、御用之節者御勘定所内坐江

も可罷越旨、被仰渡候段、為知来ル

同廿一日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、暑氣見廻、野中鉄太郎其外来人有之

同廿二日 晴

一、例刻出勤○落着申渡有之○同断帰宅

一、近藤平格・関捨四郎来、逢、坪内舍人申置

一、関江書状壹封、捨四郎江文通^二而遣又

一、佐々木信濃守・都筑金三郎江之書状、侍使^二而為持遣又

一、酒井右京亮殿江暑氣見廻、煎茶一折納戸江文通^二而相贈ル

一、河尻方便有之、内事相聞ル

同廿三日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、今日小林藤之助壹方石増地、設樂八三郎壹方石増地・場所替、小

堀勝太郎(可九) 増地被 仰付候由

一、設案江江宅封孫八郎江相渡、達方申付ル

一、後藤一兵衛江文通、暑氣見廻菓子一折遣又

同廿四日 晴

一、晝七つ時設案手代来、今日八三郎名代平出 御殿江可九□差出旨、小

高登一郎達之旨申来、名代相頼候間、承知之旨申遣又

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○知行割懸江名代罷出候段申
達○田中八十次郎江本行徳村塩浜新開場年延伺之義三付、存寄申

談、御殿江出ル○松平越中守贈物伺書、後藤一兵衛江出又○設案

八三郎・多羅尾久太郎名代相心得、場所替・最寄替有之、河内守

殿申渡、差引小高登一郎外同役共一同罷出ル、右之趣設案・多羅

尾出役江申達○下御勘定所江立寄、知行割懸江御高帳請印差出、

御高帳者多羅尾・設案出役江達写取、直三懸江返候積申付ル○九つ

半時過帰○役所出勤、八つ半時帰宅

一、内藤茂之助来、逢

同廿五日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝青山武左衛門、新五郎方江相越、金談申聞候趣、同人申出、昼
後猶又相越、証文持参、金子者手形三而相渡候旨申聞居、右証文

尙通預り置

同廿六日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、夕刻久須美順三郎来、夜四つ時過帰ル

同廿七日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、今日新御番林伊太郎、御鳥見大竹左馬太郎御代官被 仰付、林者
小林、大竹者望月伝達之由

一、海防懸元呼出有之、近海調達有之

同廿八日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝嶋田帯刀来、逢

一、おきく、おるち部屋江上ル、八つ時過出宅、二夜止宿之積

一、菊沢左兵衛方切紙達義有之、明廿九日四時御勘定所江可罷出旨申
来ル

同廿九日 晴

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○神宝方懸江相達、及引合○
平出 御殿江出ル○菊沢左兵衛方 平出 御新葬御用之儀内達有之、相

士勝田次郎江者名代戸田嘉十郎江下御勘定所三おゐて相達候由○乾

飯仕立方伺書差出、一兵衛・為弥江及談○九つ時帰○役所出勤○
勝田元江共相越、逢○例刻帰宅

同三日 晴

同晦日 晴

一、例刻早江又出勤○御内沙汰御用懸宮部孫八郎外六人江申渡○例刻帰宅

一、朝仲谷十郎左衛門来、逢

一、おきく平出 御殿より夕七つ時過帰宅

七月朔日 晴雲立

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○神宝方懸江引合平出 惇信院
様御葬式留書為写取候○九つ時前帰○役所出勤○評席申渡有之

○例刻帰宅

一、御内沙汰有之、勝田方江立会役所取極、今日江懸之もの出勤為致候

一、諸入用金相渡ル

同二日 晴

一、朝五つ半時出宅、勝田方立会役所出勤、次郎江面談、同人一同懸
之もの御用調方之見込心得方申達ス、九つ時前帰宅

一、昼後役所出勤、例刻帰宅

一、宗寿来、逢

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○菊沢左兵衛江御内沙汰御用

御入用減方之儀申談○神宝方懸江及引合平出 御殿江出ル○加賀

守殿江御内沙汰御用之儀二付、申上ル○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、朝仲谷十郎左衛門呼寄、逢、身分之儀談遣又

同四日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅○今日江干飯仕立方取懸、帰懸焚出場其外見廻ル

同五日 晴

一、例刻出勤○落着物申渡有之○九つ時帰宅

一、九つ半時出宅、立会役所出勤○帰途河尻江立寄、七つ時過帰宅

一、多羅尾久右衛門江紙封一為差遣候

一、豊田藤之進江奉札平出 峯寿院様御遺骸水戸表江御葬送三付、御供

并御暇・挂領物被 仰付、金五枚、時服二、羽織被下候段、為知来ル

同六日 晴

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○和田勝兵衛江御賦米受取方

之儀談○神宝方江伺物口々七兵衛江出ス○^(平出) 御殿江出ル○中村
為弥江兵糧取計伺書出入○九つ時帰○役所出勤○評席申渡もの有
之○例刻帰宅

同七日 晴

一、朝齋藤・望月江書通、今日中暑^(平出)付、登^(平出) 城不致義申遣ス

一、七夕

一、七夕祝義来人有之

一、勝田江昨日之返書、瓜之移遣、再報来ル

同八日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○小林藤之助詰所江来、今日後藤一兵衛

方兵糧取扱方之儀談有之義^(平出)付相越、及談判○同断帰宅

一、宗寿来、逢

同九日 晴

一、例刻出勤○同断帰宅

一、後藤一兵衛・中村為弥切紙到来、申談義有之、明日^(平出) 御殿江出

勤いたし候様申来、明日立会^(平出)ニ出勤いたし候間、名代兼可遣候様

望月江文通添廻達

同十日 晴

一、例刻出勤、九つ時過帰宅

一、九つ半時出宅、勝田立合役所出勤○豊田江立寄、近々水戸表江出
立^(平出)付、為餞別すきや嶋老反、蠟燭壱箱相贈ル、夕七つ半時過帰
宅

一、小堀権右衛門方書状差越、名前違^(平出)ニ付、近日返積

一、五味与三郎方切紙到来、明日呼出達来ル

同十一日 朝晴五つ半時比方雨

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○嘉永四亥年御勘定目録御加

印濟、菊沢左兵衛方相達請取、小田又七郎名代相頼候^(平出)ニ付、請取

出役江相渡ス○^(平出) 御殿江出ル○秣用意之儀^(平出)ニ付、申上書望月連

名^(平出)三、中村為弥江出ス、昨日談有之候義也、兵糧其外取計○再

考伺書三名之分差出候処、土佐守殿御談有之、一兵衛引合、一先

受取来○九つ時帰○役所出勤○評席申渡もの有之、例刻帰宅、

卅 明日加賀守殿御用有之、自分・勝田兩人之内、御殿江出候様達有之、
勝田者不快^(平出)ニ付自分罷越候様いたし度段、幸助を以申来ル

一、夜中多羅尾方明日道中方呼出名代頼来ル、承知之旨申遣ス

同十二日 大風雨夕収

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○道中方江多羅尾名代之旨申

達○神宝方江品々御用向申談、伺もの出ス○^(平出) 御殿江出ル○非

常取計向伺書類一兵衛江出ス○下御勘定所江再度相越、御貸付役

所_レの繰替金之儀左兵衛_ノ談候儀申達、右繰替金伺書、御金貫數直
し七兵衛_江出ス○再度御殿_江出ル○加賀守殿_ノ御法事御用御入用
筋之儀_ニ付、品々御談有之○九つ半時過歸○役所出勤、八つ時過
歸宅

一、孫八郎相越、加賀守殿御談候趣、勝田_江申通_并非常伺書一冊封渡
遣又

同十三日 半晴

一、今日_ハ十六日迄役所休日

一、朝五つ半時出宅、清岸院_{（平出）} 御牌前拝礼 御墓参いたし、九つ
時過歸宅

一、龍太郎、酒井左衛門尉亀戸抱屋敷_江初_面鉄砲為稽古参、辰吉同伴

西 沢 淳 男
いたし候由

一、市村丈右衛門来、逢、上下遣又

同十四日 晴

一、在宿

一、御殿詰組頭_ノ老封、御鷹野方詰番持参、明後十六日_{（平出）} 峯寿院

様御遺骸御出棺_ニ付、金町・松戸関所御留守居証文差越、即刻差立、
明日返書およひ候積

一、豊田藤之進_{（平出）}奉札 峯寿院様水戸表_江御葬送御供_并 御代拝_{（平出）}

為御用、明後十六日四つ半時出立之旨為知来ル

同十五日 半晴昼後少過雨

一、在宿

一、朝御鷹野役所_江出ル、墨田村御前裁場西瓜_并瓜上り之分見分いた
す

一、御勘定所_ノ元_メ呼出有之、明十六日_{（平出）} 峯寿院様御遺骸御出棺
之儀_ニ付、支配所取計向之義達有之、出役向人申付ル

一、孫八郎来、逢

一、朝望月_江書通_并答、異国書翰写一冊差越、一覽直_ニ返又

一、金田新八郎_ノ奉札、同人孫女和義、丹羽五左衛門_江縁組願、当月

十三日相済候旨為知来ル、同日付也

一、小堀権右衛門_ノ過日差越候封状、竹垣庄藏様_与有之名前違_ニ付

其訳申遣、侍使_ニ差戻又

一、西丸御普請上納金 御免御書付出ル

同十六日 晴

一、在宿

一、望月_江度々及書通

一、篠崎直一来、八三郎上納金_{（平出）} 御免御礼名代頼来、右_者道中往返
申上、可罷出筋_ニ付、逐々可差越_旨申遣、手札・服人員遣又

同十七日 晴西方_江帚星出ル

一、朝五つ時前出宅○西丸御普請二付、上納金^{平出} 御免被 仰付候御
礼廻勤、如左

当月々番 松平和泉守殿 本庄安芸守殿

御勝手方 阿部伊勢守殿 遠藤但馬守殿

右相仕廻、四つ時過帰宅 但、染帷子麻

一、例刻役所出勤、九つ時過帰宅

一、九つ半時出宅、勝田立合役所出勤、御用向品々及談判、八つ半時

過退散○浅草東漸寺^{平出} 岸本様御幕^江参詣、夕七つ時過帰宅

一、近海見分、本多越中守殿・川路左衛門尉殿・^江川太郎左衛門・岡

田利喜次郎其外昨日帰府有之候由、戸川中務少輔^者病氣延着之よし
し

一、小堀権右衛門方書封到来、請取遣候趣

同十八日 晴

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所^江出ル○神宝方及引合○^{平出} 御殿^江
出ル、九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、小泉勘左衛門来、逢

同十九日 晴

一、朝河尻帶刀来、逢

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、御母様御不快二付、宗寿呼寄昼後來、逢、御軽痢之よし申聞ル

同廿日 晴

一、朝五つ時過出宅○設楽八三郎増地・場所替被 仰付候御礼名代如
左廻勤

和泉守殿 大和守殿 但馬守殿

丹波守殿 越中守殿 右京亮殿

紀伊守殿 備前守殿 安芸守殿

左衛門尉殿 玄蕃頭殿 伊賀守殿

伊勢守殿 出羽守殿 加賀守殿

一、土佐守殿 河内守殿
○勝田立合役所出勤、弁当、小林・林部来、逢、八つ時過退散

右仕廻、八つ半時過、帰○役所出勤、七つ時帰宅

一、御母様御快方

一、阪上玄丈来、留守中^{平出} 御母様御診察いたし、御葉申受ル

同廿一日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、小堀勝太郎方書状、下緒到来

一、奉行衆廻状到来^{平出} 公方様御勝不被遊候二付、為伺^{平出} 御機嫌
明廿三日四時惣出仕御書付出ル

同廿二日 半晴

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出、神宝方懸御用向及引合○平出

御殿江出ル○惣出任之処、不及伺平出 御機嫌居殘可罷在旨達有之

○帝鑑之間御席江罷出居、如左平出 公方様御不例御養生不被為

叶、今已下刻被遊平出 薨御候平出 右大將様 御機嫌不被為替

候平出 右大將様 今日直平出 御本丸江御引移之事二候得共、御差

急之儀三付、平出 両御丸共御片付迄平出 者折々西丸江も被為入候間、

為心得申達候、右三席二御老中方列座、伊勢守殿口達有之○九つ

時過退出歸○役所出勤○今日御沙汰之趣元々共江申達、取締方等

申付ル○支配所村々江鳴物・普請停止触出、関所番人共江も同様

為申達候○八つ時過歸宅

男

一、花月堂安之助来、逢

一、望月方文通、輿地凶相返、異国書翰写一冊貸呉ル、及返書

一、奉行衆廻状来、御凶事之儀二付品々御触有之

西

同廿三日 晴

一、惣出仕三付、朝五つ時過登平出 城○四つ半時比御廻り之節、帝鑑

之間二おゐて如左演達有之平出 右大將様 御機嫌不被為替候平出

右大將様 今日方平出 上様与可奉称候、弥以御精勤相助可申旨被

仰出候段、御老中御列座、伊勢守殿口達有之○御法事懸寺社奉

行本多中務大輔・松平豊前守、大目付堀伊豆守、御勘定奉行本多

加賀守殿、御作事奉行田村伊予守、御目付鶴殿甚左衛門・青木新

五兵衛・荒尾土佐守被 仰付候○九つ時過歸○役所出勤、例刻歸

宅

一、浅井昌寿来、逢

同廿四日 晴

一、朝五つ時出宅、芝増上寺江出役、夕七つ半時過歸宅

一、御用之儀有之、明廿五日四時被為平出 召候段於平出 御殿、土佐

守殿申渡、名代兼勝田次郎方渡辺慎次郎江申越又

一、今日御取箇方方定免呼出有之、望月名代相勤相濟

同廿五日 晴夕過雨

一、朝五つ時登平出 城○於増上寺平出 御法事御用被 仰付候段、於

御右筆部屋猿頬備前守殿被仰渡、若年寄衆待坐、差添加賀守殿

御目付一色邦之助、御賄頭、表御右筆、御勘定所向、御作事方、

御覺奉行都合廿式人一席二成○御法事懸二品々御用向引合、九つ

時過退出、廻勤

伊賀守殿 女蕃頭殿 備前守殿

安芸守殿 紀伊守殿 右京亮殿

越中守殿 但馬守殿 丹波守殿

和泉守殿 大和守殿 伊勢守殿

出羽守殿 奉行衆者廻勤断三付、不相越

右相仕廻、勝田方立会役所出勤○手付・手代惣懸訊申渡、御用向

品々取調、夕七つ半時過歸宅

一、奉行衆廻状 御機嫌伺出仕御書付

七月廿六日 万石已下

廿九日 諸役人・寄合

同廿六日 晴夕過雨

一、例刻出勤、同断帰宅

同廿七日 晴

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出(平出) 御殿江出ル、九つ時過帰○

役所出勤○長戸呂村仁兵衛出牢、村預申付ル、例刻帰宅

一、早朝勝田江文通、返書来

一、おたの、おるち部屋へ帰ル

一、奉行衆廻状来

一、御中陰中ニ付、八朔御祝義御礼無之、流ニ相成、御本丸・西

丸(平出) 殿中染帷子着用

一、八月四日

午上刻 御出棺

酉上刻 御葬送

一、養子取組之儀并諸家留守居取締

右御書付

同廿八日 晴

一、朝四時役所出勤○武州松伏村久右衛門出牢、宿預申付ル○増上寺

江出役、八つ半時帰宅

一、奉行衆廻状来

一、御出棺御当日(平出) 御本丸白帷子麻上下、西丸染帷子麻上下

着用

一、御直参之面々(平出) 御初七日過髭剃可申

一、陪臣者(平出) 御初七日過、月代剃可申(平出) 御目見仕候陪臣も

同断

一、八月五日惣出仕、六日諸番頭・諸物頭・諸役人・寄合 御機

嫌伺出仕

右御書付

一、夜松村文蔵来、逢

一、小高登一郎方切紙、奉行衆被仰渡有之、明廿九日五時下御勘定所

江罷出様申来、望月江名代相兼候様頼遣、承知之旨申越ス

同廿九日 晴

一、朝五つ半時過出宅、増上寺江出役、暮六半時過帰宅

一、下御勘定所江呼出有之、望月名代ニ出、奉行衆被仰渡有之候由